

一般社団法人日本エンドオブライフケア学会主催 平成30年度

エンドオブライフにむけた 意思表示プロセスを支援する実践セミナー 【ベーシックレベル・ファーストレベル】

エンドオブライフケアにおける意思表示支援とは何かを学び
多様な場における相談支援のあり方を再考しながら
それぞれの臨床の場や役割に応じて現状と課題について語り合きましょう！

会場	1日目 ベーシックレベル	2日目 ファーストレベル	申込み 締め切り
①金沢会場 石川県済生会	終了しました。 ご参加ありがとうございました。		10月27日 (土)
②京都会場 京都大学			(土)
③東京会場 東京女子医科大学 看護学部 (第1校舎)	5月18日 (土)	5月19日 (日)	5月4日 (土)

場所が変更になりました

対象： 意思表示支援に関心のある医師、看護師、保健師、助産師、薬剤師、栄養士、介護職、社会福祉士、理学療法士、作業療法士、ケアマネジャーなどの専門職

参加費： 学会員 3,500円/日 非会員 7,000円/日
学生会員 2,000円/日 学生非会員 3,500円/日

- ◆本年度は、ベーシックレベル、ファーストレベルを同日程で開催することになりました。
- ◆上記日程より、どの会場でも繰り返し受講することができます。また、1日のみの受講も可能です。
- ◆職場の同僚、上司、チームメンバーなど皆様、お誘いあわせの上、ご参加ください。
- ◆昼食は各自ご用意ください。

申し込みは**日本エンドオブライフケア学会**ホームページで受付しております。

※各回とも50名の定員になり次第締め切ります。

ホームページ URL:<http://endoflifecare.jp/>

問い合わせ先

〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1看護学部 長江研究室
日本エンドオブライフケア学会 意思表示プロセスセミナー事務局
E-mail : jseolc2018desk@gmail.com



エンドオブライフにむけた 意思表示プロセスを支援する実践セミナー

目的：

1日目（ベーシックレベル）「自分らしく生きる」を哲学する

- ①エンドオブライフケアを必要とする背景、およびその概念について理解する
- ②Good Deathの概念を基盤に自身の死生観を意識化する
- ③自分の人生を自分で作り上げていくために何が必要かを考える。

2日目（ファーストレベル）エンドオブライフケアにおける意思表示プロセスの考え方を学ぶ

- ①エンドオブライフケアにおける意思決定支援とACPの概念、および意思表示プロセスの位置づけを理解する
- ②意思表示プロセスを支援する実践モデルを活用し、意思表示を支える働きかけの考え方を学ぶ

予定プログラム		*一部変更することがありますことをご了承ください。
1 日 目	10:00-12:00	講義：①エンドオブライフケアとは、②自分らしく生きるとは、③人間にとって「語る」意味とは、等 個人ワーク：Good Deathについて考える
	12:00-13:00	昼食
	13:00-16:00	グループワーク・発表、講義
2 日 目	10:00-12:00	講義：①エンドオブライフケアにおける意思表示支援、 ②自分にとってのACPとは、③意思決定支援の3本柱、等 個人ワーク：意思表示支援事例の展開
	12:00-13:00	昼食
	13:00-16:00	グループワーク・発表

【講師を担当する委員会組織】

エンドオブライフに向けた意思表示プロセスの実践・教育・研究委員会

長江弘子	東京女子医科大学 教授
足立智孝	亀田医療大学 教授
西川満則	国立長寿医療研究センター 緩和ケア診療部
鶴若麻理	聖路加国際大学 准教授
片山陽子	香川県立保健医療大学 教授
伊藤真理	川崎医科大学総合医療センター 急性・重症患者看護専門看護師
田村恵子	京都大学 教授 がん看護専門看護師
坂井志麻	東京女子医科大学 准教授
大桃美穂	町田市民病院 看護師
藤田 愛	北須磨訪問看護・リハビリセンター所長 慢性疾患看護専門看護師
原沢のぞみ	東京女子医科大学 講師
渡邊賢治	自治医科大学
岩崎孝子	東京女子医科大学
川原美紀	東京女子医科大学